

事務事業名	にぎわい創出店舗活用事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
H29作成課等名	商業・市街地活性化課	H29係等名	商業流通係	H28担当課等名	商業・市街地活性化課			
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり					
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり					
目的	対象(誰・何を)	空き店舗及び大型店舗・建物の空きスペース			対象指標	指標名及び単位	28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	商業施設、商店街コミュニティ施設として活用してもらい、商店街等のにぎわいに結び付ける				空き店舗数(中心商店街連合会内)	60	
	向上させたい上位施策の成果指標	小売業1店舗当たりの売上額(万円)						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	活用できた空き店舗数		3	1	3	3	
	定性目標							
事業概要	商店街のコミュニティ施設、または、起業家支援店舗として空き店舗を活用する商業者及び団体を支援し、創業支援や新規出店環境の向上を図りながら、商店街のにぎわいを創出する。また、商店街の空き店舗における新規出店や創業をする事業者を支援する。							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 空き店舗活用推進補助事業 (1)コミュニティ施設整備事業補助 商店街団体が空き店舗をコミュニティ施設又は起業家支援店舗として活用する場合の改修費、賃借料等の補助 (2)まちなか創業空き店舗活用事業補助【新】 若者等の新規出店や創業において、商店街等の空き店舗に誘導するために必要な施設改修等の補助			1(1)活用団体数 1(2)活用事業者数		1(1) 0団体 1(2) 3事業者		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		640	1,160	741	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		640	1,160	741				
人件費計(千円)②		715	858	858	0			
正規職員所要時間		200	240	240				
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		1,355	2,018	1,599	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成28年度から若者等で起業・創業を目指す者に商店街の空き店舗を活用するよう誘導する支援に変更し、3件の実績を上げることができた。							
改革改善の考え方	①問題点	中心市街地の伝統的な商店街での空き店舗活用実績がない。						
	②改革提案	空店舗情報を起業・創業希望者が望むような形で提供できるよう、更に、中心市街地の空店舗対策が進むよう、中心市街地における空き店舗の詳細な調査を行う。						